

# 筋膜リリースセミナー 腰痛へのアプローチ

筋膜の特性と構造を考慮した痛く無い筋膜リリース



## ウェビナー中の注意点

- ・ 録音、録画、資料の転載はご遠慮ください。
- ・ 受講生の皆様は音声offにしてください。画像の表示はどちらでも構いません。
- ・ 質問がある時はコメント（チャット）からお願いします。セミナー中でも構いません。

## セミナー内容

- ・ 筋膜の概要
- ・ 筋膜の異常
- ・ 痛みと筋膜
- ・ 筋膜の評価
- ・ 筋膜リリース概要
- ・ 実技紹介



## 自己紹介

Rolf-Concept代表

星 圭悟 (ほし けいご)

資格

- ・ 作業療法士(臨床経験13年目)
- ・ Structural Integration Practitioner

経歴

- 2009 千葉県医療技術大学卒業
- 2009 旭神経内科リハビリテーション病院 入職
- 2014 G.S.I Practitioner 取得、Rolf-Concept開業
- 2015 ナスコ訪問看護リハビリステーション

参加セミナー

- トーマス・マイヤースと学ぶ筋膜解剖実習
- Fascial Integration , Structural Integration Basic course

# Rolf-Conceptの筋膜リリース 「臨床筋膜リリース」

- 筋膜はFasciaとして捉え、筋膜リリースはFasciaへの介入
- 道具を使わず、自分の身体を使った徒手介入。
- 米国で学んだStructural Integrationを元に、老若男女、疾患を問わない臨床に特化した筋膜リリースです。
- 組織の破壊などの侵襲的な介入は行わず、筋膜の特性「水和作用」、「可塑性・適応性」、「感覚入力」を用いて組織の再編、循環の改善、自律神経系の調整を行う。

# 「Structural Integration」 とは？

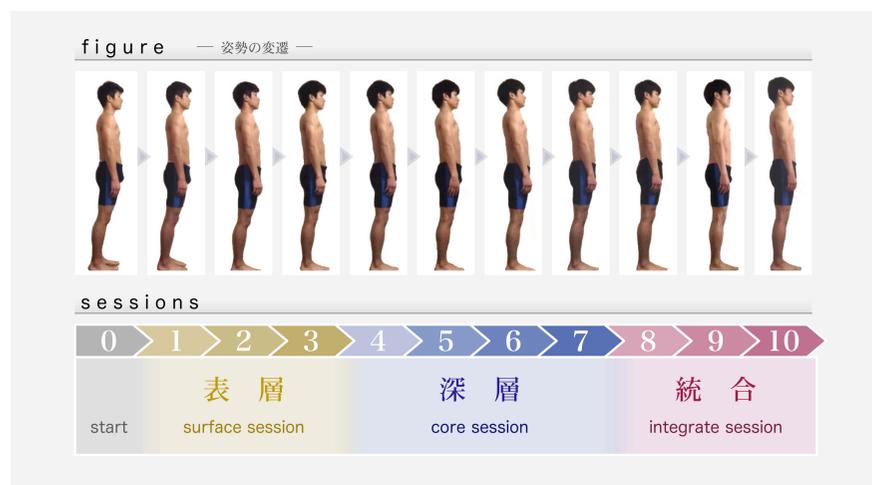


We can now define rolfing  
it is a System of organizing the  
body so That the substantially  
vertical And substantially  
balanced around a Vertical, in  
order to allow the body to accept  
support from the gravitational  
energy.

Dr. Ida P. Rolf Healing Arts Center  
1975

6

## 10Session



7

定義、ミクロ構造、ネットワーク機能

## 筋膜の概要



## 筋膜とは？

筋内膜、筋外膜、筋周膜

# だけじゃない！！

線維性結合組織の総称として使われています。

靭帯、腱、胸膜、心膜、腹膜など、、、



## なんで名称と部位が違うのか？

### Fasciaを筋膜と著したから

・ Fasciaとは？

ネットワーク機能を有する「目視可能な線維構成体」

社団法人日本整形内科学研究所 (JNOS) ホームページより引用、抜粋



## 筋膜の成分

### ・ 線維系

コラーゲン線維、エラスチン線維、レチクリン線維、、、

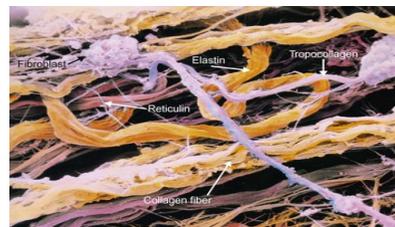
### ・ 基質 (水分)

グリコサミノグリカン (プロテオグリカン、ヒアルロン酸)

### ・ 細胞

線維芽細胞、筋線維芽細胞、

軟骨細胞



※ホルモン受容体、カンナビノイド受容体が含まれている。

## 筋膜のネットワーク機能

「筋膜系は全ての内臓器官、筋肉、骨、神経線維を包み、貫通し合い、**身体に機能的構造**を与え、身体**の全てのシステム**が一体として活動することを可能にする。」

Adstrum,S.,Hedley,G.,Sechleip,R.,Syeco,C.,& Yucesoy,C.A(2017)Defining the Fascial system. Journal of Bodywork & Movement therapies,21,173-177.

ANATOMYTRAINS STRUCTURE & FUNCTION TOKYO,MAY 2019資料より引用、抜粋

・ **システム**(各器官系)

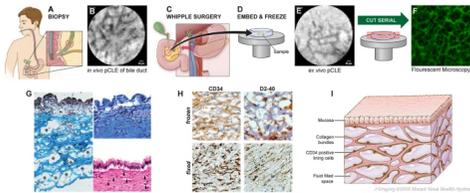
例) 呼吸器系、循環器系、免疫系、など

・ **機能的構造**

各器官系が協調的に働ける構造。お互いの干渉を最小限にする。

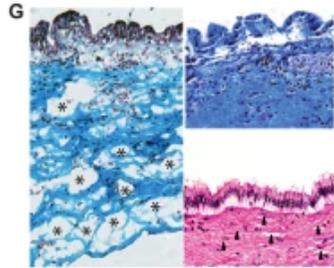


# 筋膜はヒト最大の器官



ニューヨーク大学などの研究チームによると、皮膚の下部、消化管や膀胱、肺、動脈の周辺にある網状の組織が「衝撃緩衝材」としての機能を果たしている可能性があるという報告。

間質とそれを満たす間質液の存在はこれまでも確認されていたが、特定の役割があるとは考えられていなかった。今回の研究で間質液は、細胞が発するシグナルや有害な分子の存在を伝達する役割を担っている可能性があることが明らかになっている。

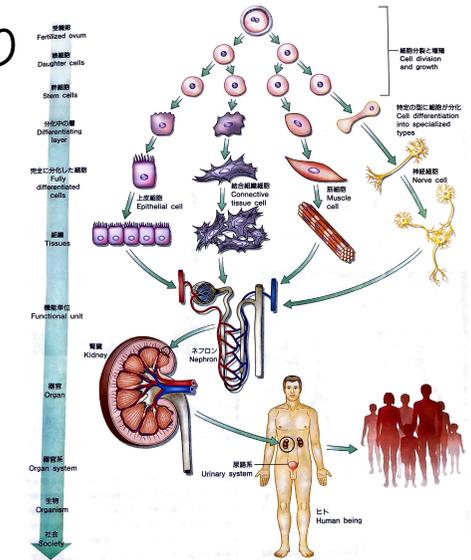


Structure and Distribution of an Unrecognized Interstitium in Human Tissues

# 筋膜の全体の繋がり

筋膜は細胞から器官系を包み、生物の構造を形成する。

- ミクロ：組織
- マクロ：アライメント、姿勢



Thomas W.Myers, Anatomy Train Second Edition

# 筋と筋膜の繋がり 直列・並列・螺旋



直列の繋がり



並列の繋がり



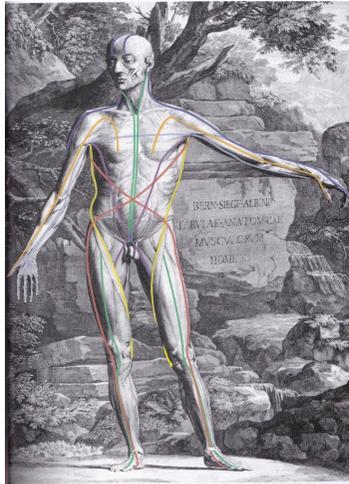
螺旋の繋がり

並列、直列、螺旋

# 筋膜の繋がり

# 筋筋膜の繋がり 直列

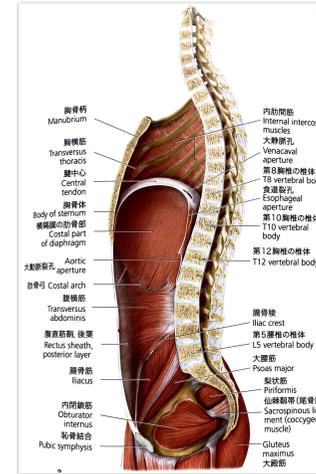
## ANATOMY TRAIN



Thomas W.Myers, Anatomy Train Second Edition



# 体幹の直列の繋がり

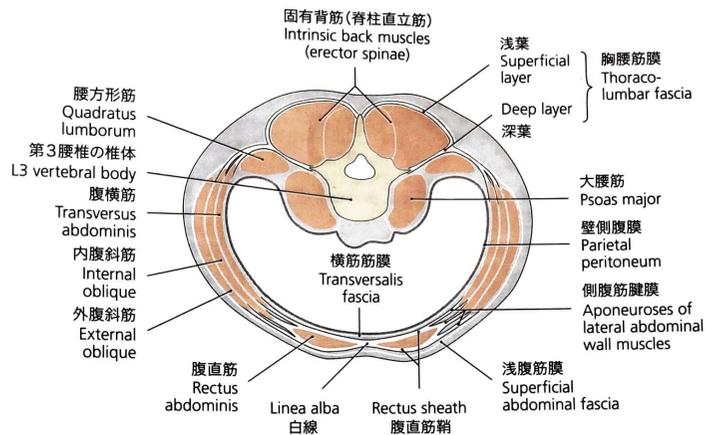


プロメテウス解剖学アトラス

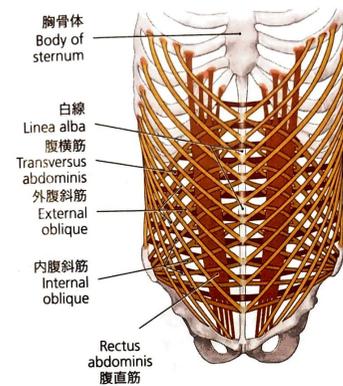


Thomas W.Myers, Anatomy Train Second Edition

# 体幹の水平の繋がり



# 螺旋の繋がり



プロメテウス解剖学アトラス

腹斜筋群



Thomas W.Myers, Anatomy Train Second Edition

SPL

## 構造として捉える

- 関節 = 骨 + 関節腔 + 筋膜 (結合組織)
- 筋肉 = 筋細胞 + 筋膜 (結合組織)
- 神経 = 神経線維 + 筋膜 (結合組織)
- 血管 = 血管腔 + 自律神経 + 筋膜 (結合組織)

## 筋膜の異常な状態 (伸長性・滑走性の低下)

- 水分量の低下  
循環不良、ヒアルロン酸の自己会合
- 筋膜の線維化  
外部ストレスに伴う線維芽細胞の反応
- 組織の緊張  
筋線維芽細胞による持続的な緊張

ヒアルロン酸、線維化、筋線維芽細胞

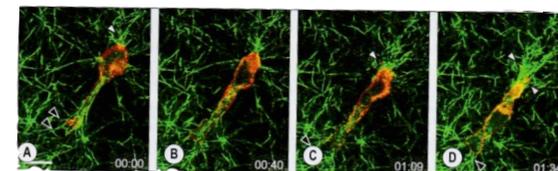
## 筋膜の異常



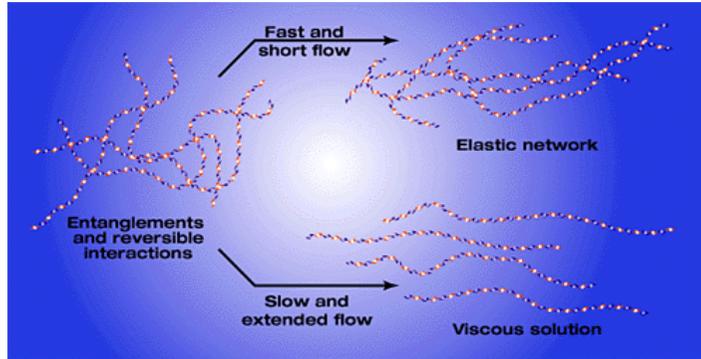
## 線維芽細胞

- 力学的なストレスを受けることで、力の向きに拮抗するように線維を産出する。
- プロスタグランジンE2、DNA合成、タンパク質生産能が高まる。

林 鈺三郎 他 生体細胞・組織のリモデリングのバイオメカニクス



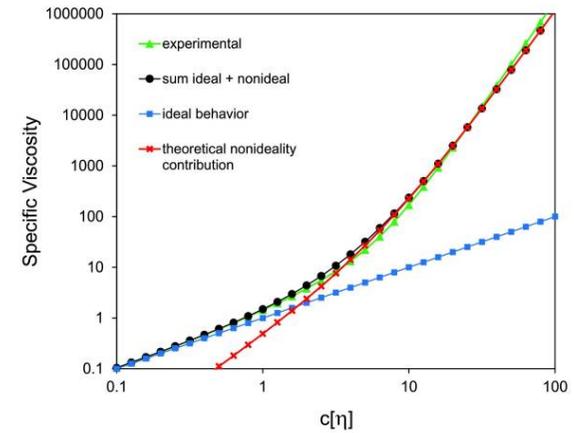
# ヒアルロン酸の自己会合と粘弾性



自己会合したヒアルロン酸は水分との結合を困難にする。  
 急激で持続時間の短い流れに抵抗できるという弾性的な性質を持つ。持続時間の長い流れに対しては、網目構造の一部は乖離し、分子が整列することにより、HAも溶媒分子とともに移動し粘性を示す。

<https://www.glycoforum.gr.jp/article/01A2J.html#mokuji07> より

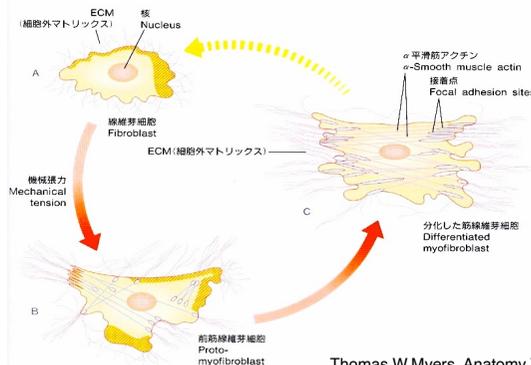
# ヒアルロン酸の濃度・固有粘度と溶液粘度



筋膜の伸長性、滑走性が失われている部位は、ヒアルロン酸の濃度が濃くなる傾向にある。  
 分子間の混雑により、理想的な溶液に期待される粘度よりも粘度が高くなる。

## 組織の緊張 筋膜と自律神経系

交感神経が活性化（不安・ストレス）することで、サイトカインTGF-β 1 発現増加を誘発する。  
 これは筋線維芽細胞の収縮を刺激する。



Thomas W. Myers, Anatomy Train Second Edition

## 侵害刺激、ストレスと身体の反応

交感神経が優位となり以下の反応が起こる

- ・ 抹消での循環不良(抹消血管の収縮)
- ・ 痛みの誘発(ノルアドレナリンの作用)
- ・ 筋膜の緊張亢進(筋繊維芽細胞)
- ・ コラーゲン再生の阻害(コルチゾールの作用)



※筋膜にとって交感神経が優位になること(侵害刺激)は望ましくない。

## 非侵害刺激と身体反応

- 情動の変化：心地よさ、安心感
- 自律神経系の変化：副交感神経が優位になる
- 疼痛：疼痛が軽減する
- ホルモン分泌：オキシトシンの分泌

※前腕、顔面で反応が起こりやすい。



山口創 皮膚は「心」を思っていた！

A.Sato・Y.Sato・R.F.Schmidt 体性-自律神経反射の生理学 物理療法、鍼灸、徒手療法の理論

## 筋膜の異常まとめ

- 精神的ストレス  
ストレスホルモンの増加により、コラーゲンの合成治療と再生を遅延、阻害する
- 力学的ストレス  
線維芽細胞は、力学的負荷のかかる方向に線維を産出する
- 自律神経系の異常  
交感神経が優位になることで、循環障害や筋線維芽細胞の収縮を促す
- 生理学的要因  
pH、性ホルモン、サイトカインにより筋膜の緊張、構成に影響を与える
- 中枢神経系の異常  
内受容性認知（身体所有感、運動主体感など）の低下に伴う自律神経系の異常

## 痛みとは？

「実際の組織損傷もしくは組織損傷が起こりうる状態に付随する、あるいはそれに似た、感覚かつ情動の不快感体験」

付記

- 痛みは常に個人的な経験であり、生物学的、心理的、社会的要因によって様々な程度で影響を受けます。
- 痛みと侵害受容は異なる現象です。感覚ニューロンの活動だけから痛みの存在を推測することはできません。
- 個人は人生での経験を通じて、痛みの概念を学びます。
- 痛みを経験しているという人の訴えは重んじられるべきです。
- 痛みは、通常、適応的な役割を果たしますが、その一方で、身体機能や社会的および心理的健康に悪影響を及ぼすこともあります。
- 言葉による表出は、痛みを表すいくつかの行動の1つにすぎません。コミュニケーションが不可能であることは、ヒトあるいはヒト以外の動物が痛みを経験している可能性を否定するものではありません。

日本緩和医療学会 <https://www.jspm.ne.jp>より

神経の絞扼・滑走性障害

## 痛みと筋膜



# 腰痛とは？

## 腰痛はどのように定義されるか

### 要約

以下のように腰痛を定義する。

- 部位：体幹後面に存在し、第12肋骨と殿溝下端の間にある、少なくとも1日以上継続する痛み。片側、または両側の下肢に放散する痛みを伴う場合も、伴わない場合もある。
- 有症期間：急性腰痛（発症からの期間が4週間未満）、亜急性腰痛（発症からの期間が4週間以上、3ヵ月未満）、慢性腰痛（発症からの期間が3ヵ月以上）の3つに大別される。
- 原因：脊椎由来、神経由来、内臓由来、血管由来、心因性、その他に定義される。具体的な原因は、以下の3つに大別される；重篤な基礎疾患（悪性腫瘍、感染、骨折など）、下肢の神経症状を併発する疾患、各種脊柱構成体の退行性病変（椎間板・椎間関節変性など）。

腰痛診断ガイドライン2019 改訂第2版

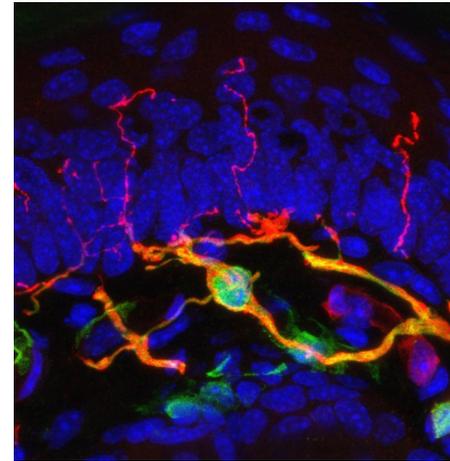
# 痛みと筋膜2

- ・ 超音波診断装置を用いて、正確に筋外膜に食塩水を注入すると、疼痛の反応が生じた。
- ・ 軽度の不快感を生じさせる高張性食塩水注射は人の胸腰筋膜に関する研究でも用いられる。胸腰筋膜はその直下にある脊柱起立筋より痛覚に過敏であることが明らかになった。

David Lesondak Fascia what it is and why it matters

# 痛みと筋膜

## 侵害受容グリア・神経細胞複合体



グリア細胞（膠細胞）という細胞が網状に並んだだけの単純な器官。

皮膚の外側の層（表皮）と内側の層（真皮）の間にグリア細胞によるネットワークが形成され、そこから細い繊維のような突起が外側の層に伸びている。

侵害受容グリア・神経細胞複合体と呼ばれる器官の構造は緑、神経細胞は赤、皮膚の外側部分の細胞は青で示されている。

<https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/19/082000475/>

# 胸腰筋膜と侵害受容

- ・ ラットの胸腰筋膜にはペプチド作動性知覚性神経終末カルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)、サブスタンスPが含まれる。(皮下組織と外層に多く含まれる)
- ・ 感覚線維の総数は全線維の1/3。約2/3は遠心性神経で、おそらく交感神経節後線維で構成されている。
- ・ 胸腰筋膜に受容器があるほとんどのニューロンには、腰部、股関節、下肢の近位/遠位の皮膚とその他の深部の組織や領域からの輻輳入力があった。

Evidence for the existence of nociceptors in rat thoracolumbar fascia

Siegfried Mense 1, Ulrich Hoheisel 2

## 神経の絞扼・滑走性障害

- ・正中神経は手関節、頸部の動きに合わせて移動している。一本の紐が滑り動くように身体内で神経は移動している。
- ・手指の屈曲-伸展運動に伴って正中神経は手根管を短軸方向に滑走するが、健常者に比べて手根管症候群患者の重症度が高い人ほど滑走量が減少していた。

河端 将司 宮武和馬 宮田徹 神経の滑走

## 神経、血管

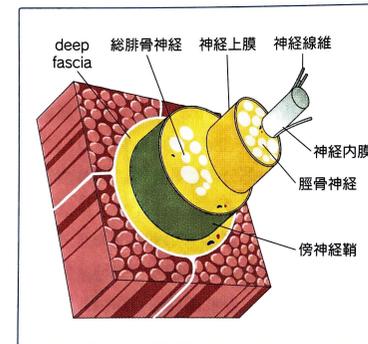


図2 脛骨神経の傍神経鞘

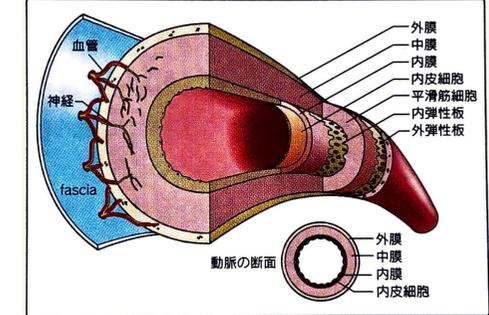


図1 動脈の構造

神経

血管

木村浩明、高木恒太郎、並木宏文、小林只 Fasciaリリースの基礎と臨床



## 疼痛と情報の不整合性

腰痛群と健常群で固有感覚を比較した研究では、腰痛群において固有感覚の有意な低下を認めた (Lee et al. 2010)

- ・体性感覚と視覚の不一致
- ・身体イメージの変容
- ・運動イメージでの痛みの誘発

※痛みは単純な痛み刺激によって生じるものではなく、複雑な情報処理プロセスによって生じる

## 腰痛に関わる筋膜、神経

- ・胸腰筋膜
- ・腹斜筋筋膜
- ・横筋筋膜
- ・腰神経叢(閉鎖神経、大腿神経、腸骨下腹神経)
- ・上、中、下殿皮神経、外側大腿皮神経

ネットワーク機能の視点から

## 筋膜の評価



## 筋膜のネットワーク機能

「筋膜系は全ての内臓器官、筋肉、骨、神経線維を包み、貫通し合い、**身体に機能的構造**を与え、**身体**の全ての**システム**が一体として活動することを可能にする。」

Adstrum,S.,Hedley,G.,Schleip,R.,Syeco,C.,& Yucesoy,C.A(2017)Defining the Fascial system.  
Journal of Bodywork & Movement therapies,21,173-177.  
ANATOMYTRAINS STRUCTURE & FUNCTION TOKYO,MAY 2019資料より引用、抜粋

・ **システム**(各器官系)

例) 呼吸器系、循環器系、免疫系、など

・ **機能的構造**

各器官系が協調的に働ける構造。お互いの干渉を最小限にする。



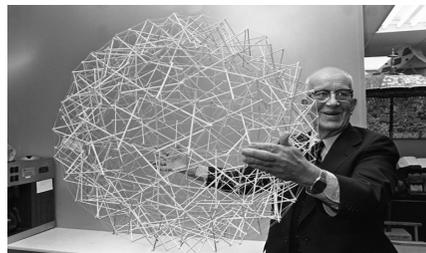
## テンセグリティ (Tensegrity)

「テンション材の海の中に浮かぶ圧縮材の集合体」

**Tension (張力) + Integrity (統合性)**

張力(筋筋膜)と圧縮力(骨、筋腹)で**身体に機能的構造**を与える。

- ・ 最小限の部材で構築できる
- ・ 部材同士が接続していない



## テンセグリティの力学的特性

マクスウェルの公式に適用しない構造のため**柔らかく**、**ストレスを分配**する。

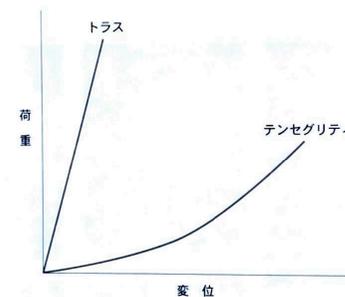


図10 テンセグリティの荷重-変位曲線

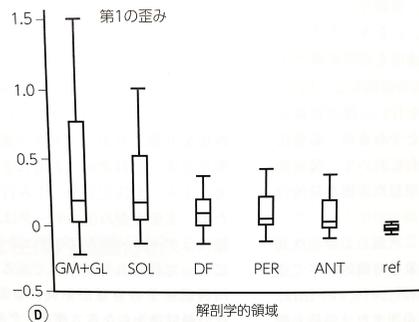
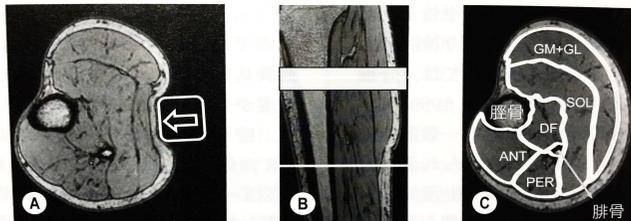
荷重を加えると初めは柔らかく、荷重が増すにつれて硬くなる。

この特性は生体組織の振る舞い「**線形硬化**」に似ている。

川口健一 細胞にならった建物をつくる -テンセグリティの世界



# 力の伝達

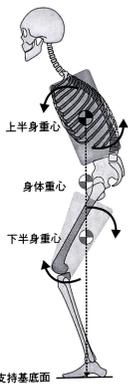


- GM +GL 腓腹筋
- SOL ヒラメ筋
- DF 深部屈筋区画
- PER 腓骨筋区画
- ANT 前面区画

# 姿勢の協調性



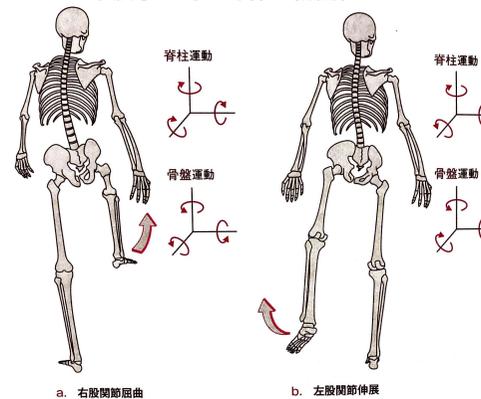
頭頸部が前方や後方に傾斜しても、脊柱や下肢による代償によって支持基底面に対する身体重心の投影点や第九胸椎の前後位置はほぼ一定に保たれる



上半身と下半身を回転させることで上半身重心と下半身重心の前後変位を抑え支持基底面に対する身体重心の安定的な定位を可能にしている。

# 動作時の協調性

下肢挙上時の身体の協調性



身体は全身を協調させ、ストレスを分散させる。  
一つの部位の制限は、その他の過用・アライメント不良を生み出す。

# まとめ ネットワーク機能と筋膜の評価

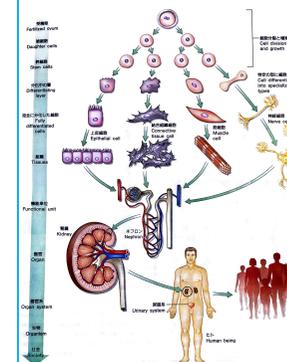
筋膜は細胞から器官系を包み、  
身体に機能的な構造を与える。

↓

筋膜は身体に  
機能的な構造(テンセグリティ様の構造)を与える。

↓

身体(細胞から組織、器官、器官系)は  
「テンセグリティ様の構造、振る舞いを持つ」



身体がテンセグリティ様の構造、振る舞いを持つという視点が評価となる。

## ネットワーク機能が失われた状態

### ・ミクロ解剖での異常（組織）

線維、細胞、基質のいずれかが異常な状態

### ・機能解剖学的異常（器官、器官系）

組織の柔軟性、滑走性が低下し本来の構造・動きでは無い状態

### ・姿勢（生態）、動作

非効率なアライメント・姿勢、協調性の無い動きをしている状態



### ○臨床での問題点○

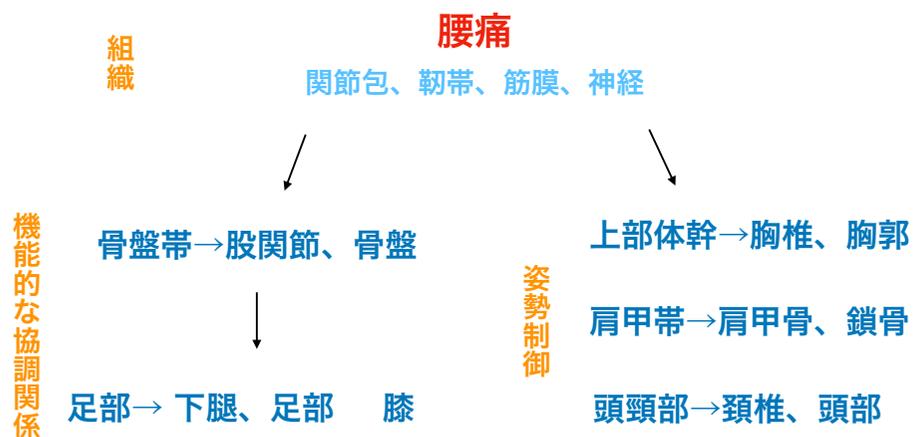
関節可動域制限、筋力低下、マルアライメント、疼痛閾値の低下など

## 筋膜の評価

- ・エコーでの評価（組織）  
組織の重積、滑走性の評価
- ・視診（器官、器官系、生態）  
姿勢、関節アライメント、動作
- ・触診（組織、器官）  
力学的な負荷に対する組織の反応



## 木を見て森を見る、森を見て木を見る



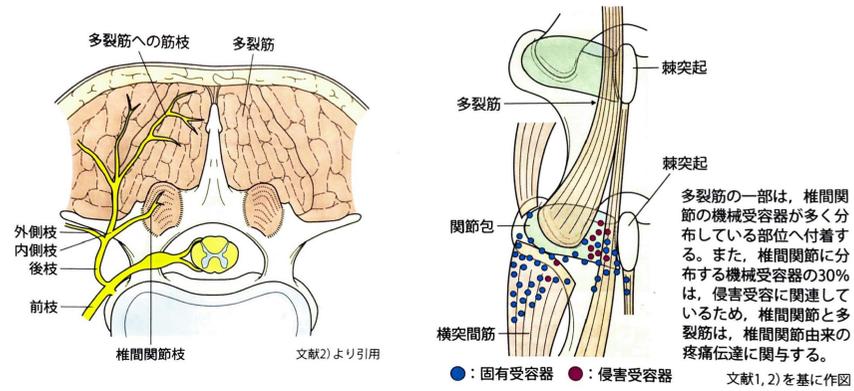
局所(木)から全身(森)の協調関係を作っているのは **筋膜**

姿勢、骨盤帯

## 腰痛と構造、筋膜の繋がり



# 多裂筋と椎間関節



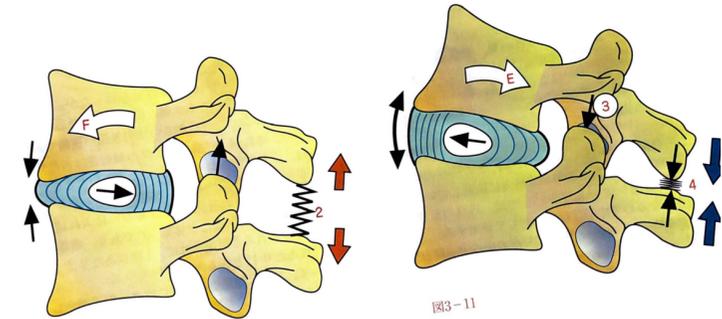
多裂筋の一部は、椎間関節の機械受容器が多く分布している部位へ付着する。また、椎間関節に分布する機械受容器の30%は、侵害受容に関連しているため、椎間関節と多裂筋は、椎間関節由来の疼痛伝達に關与する。

●：固有受容器 ●：侵害受容器

文献1, 2)を基に作図

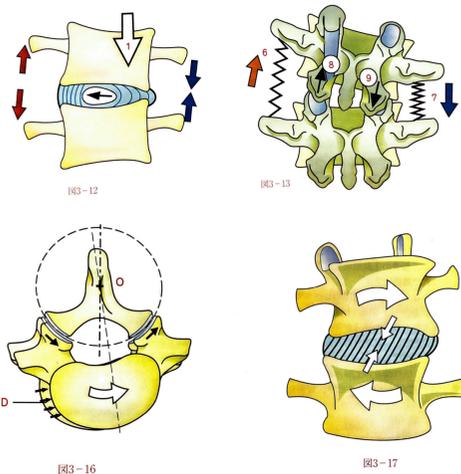
多裂筋と椎間関節は脊髄神経後枝内側枝に支配されているため、椎間関節や分離症で生じた炎症は多裂筋のスパズムを生み出す。

# 筋内圧 腰椎の屈曲・伸展



- ・腰椎前弯の消失・低下は筋内圧が上昇し、筋血流量は減少する。
- ・腰椎の伸展により硬膜外圧が上昇すると、馬尾内にうっ血が生じ間欠性跛行を中心とする馬尾障害に至る。

# 関節内圧 腰椎の側屈・回旋



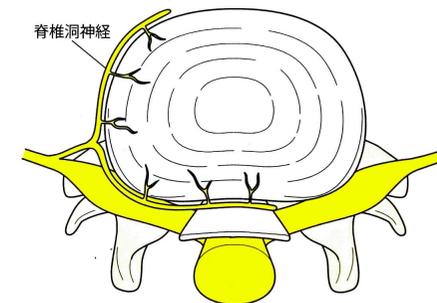
・L2からL4は回旋時反対方向への側屈が見られる。L5からS1は回旋と同方向への側屈が見られる。

・回旋時、回旋軸が棘突起基部となるため回旋に伴い下位腰椎に対して上位腰椎の迂りを伴う。

・腰椎の伸展と反対側への回旋は、関節突起部に高い応力を生じる。

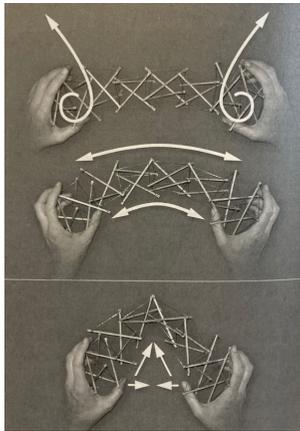
# 椎間板内圧

図4 脊椎洞神経



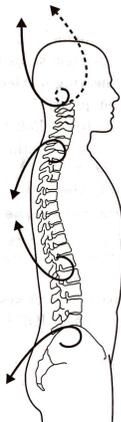
- ・椎間板の変形、アライメント不良による内圧の増加は、線維輪の外縁にある脊椎洞神経を介して腰痛を生じる。
- ・また、椎間板の支持性の低下は椎間関節に負荷がかかり椎間関節性腰痛が発生する。

# テンセグリティの動き



螺旋線に沿って回転させることで、どの剛性成分もお互いを圧縮することではなく、カーブは均質となる。

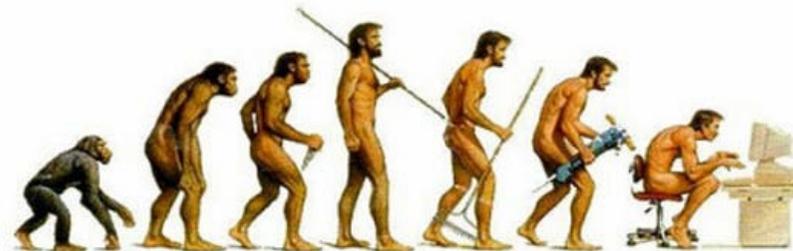
Stephen M Levin, Daniele-Claude Martin Biotensegrity



後頭骨は屈曲で太い螺旋方向の上後方へ伸展で点線の螺旋線方向の上後方へ動く。

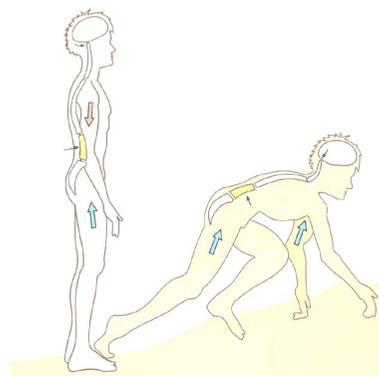


# 進化による姿勢の変化



重力に拮抗した直立姿勢へ進化し二足歩行を獲得した。

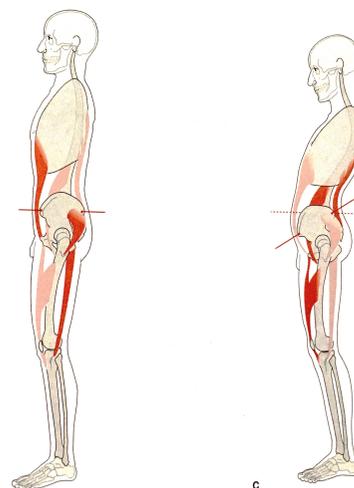
# 効率的な姿勢保持と歩行



股関節、膝関節の伸展可動域を拡大させ、また、腰椎の前彎と骨盤形状の変化により、**重心位置を股関節の直上に配置した。**

**重心の位置を高くすることで効率的な歩行を可能にする。**

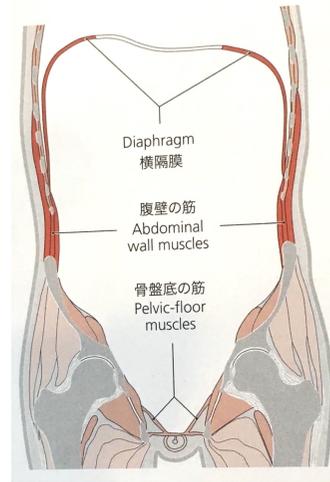
# 腹圧の作用とアライメント



- 脊椎の安定性  
腹圧と胸背筋膜の相互作用により脊椎を安定させる。

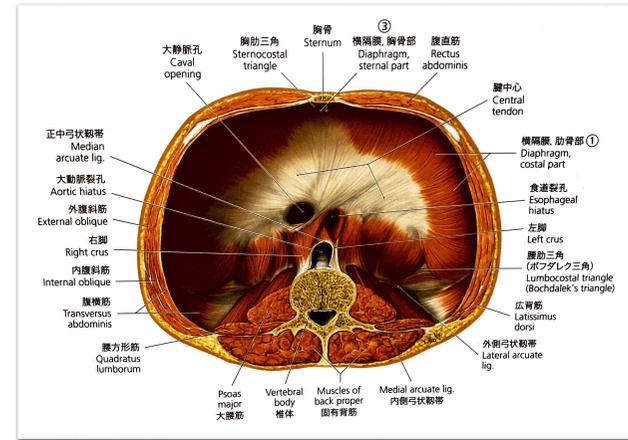
- 体幹の伸展  
腹圧が増加した場合、屈曲モーメントを発生させずに脊柱を伸展させる。

# 体幹のインナーユニット



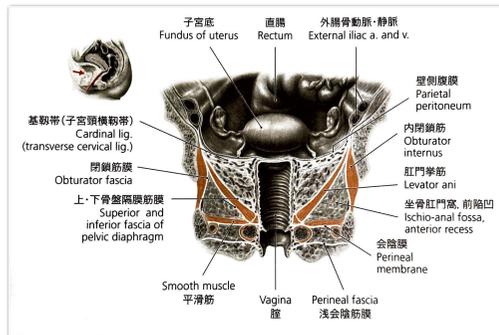
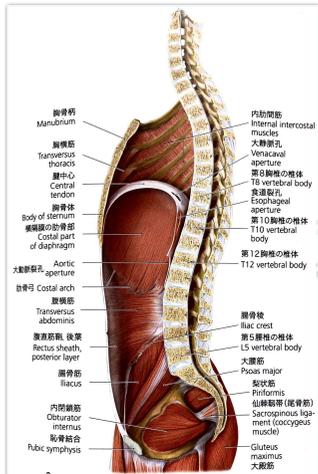
プロメテウス解剖学アトラス

# 横隔膜と大腰筋・横筋筋膜



内側弓状靭帯は大腰筋との繋がりを持ち、外側弓状靭帯は横筋筋膜との繋がりを持つ

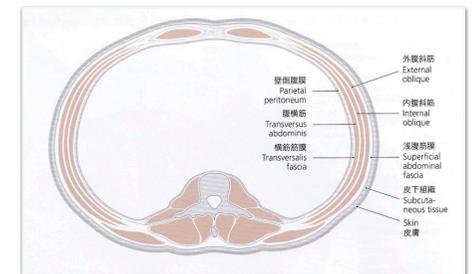
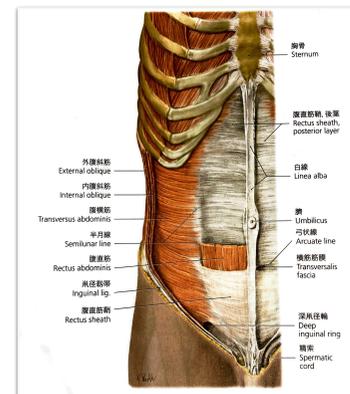
# 骨盤底



壁側筋膜から閉鎖筋膜への繋がりがあり、骨盤隔膜、内転筋筋膜へと続く

プロメテウス解剖学アトラス

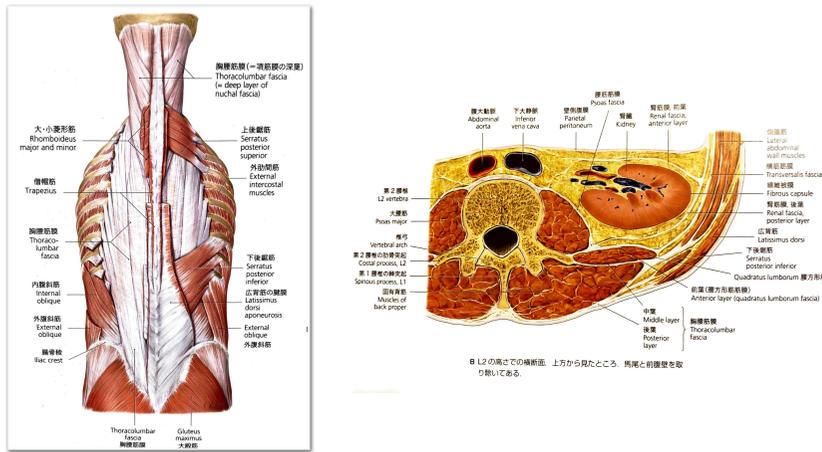
# 半月線



腹直筋腱鞘の外側部。腱鞘の前葉（外腹斜筋）と後葉（内腹斜筋、腹横筋）を結ぶ。

プロメテウス解剖学アトラス

# 外縫線



胸腰筋膜の後葉、中葉を結ぶ。腹横筋、内腹斜筋の一部の起始となる。

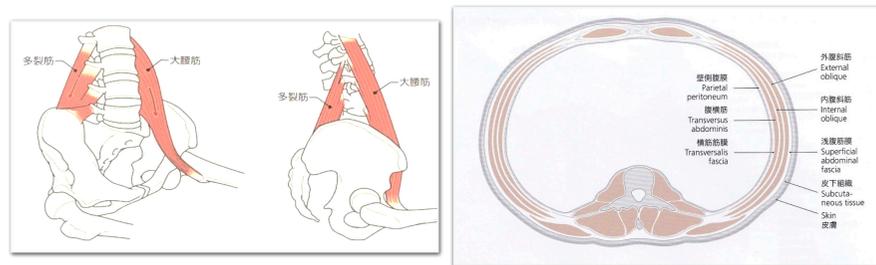
プロメテウス解剖学アトラス

# 体幹の区画



背面の筋は胸腰筋膜に包まれ、前面の筋は横筋筋膜によって包まれる。

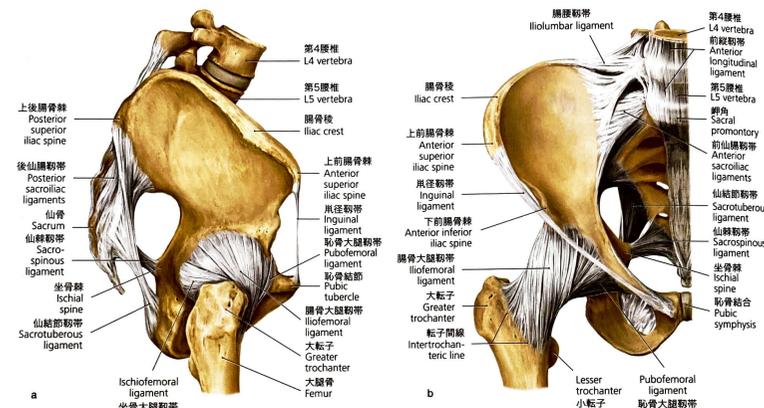
# 体幹のインナーユニットの協調性



多裂筋：腰椎を前弯させ胸背筋膜の張力を高め、さらに腰椎を安定させる。  
 腹横筋：骨盤帯を周囲から支えるコルセットの役割を持っている。  
 大腰筋：腰椎を前弯させ多裂筋と共に腰椎を安定させるが、腰椎屈曲位では腰椎の屈曲に働く。

石井慎一郎 動作分析臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践

# 骨盤帯



大腿骨、骨盤（腸骨、恥骨、坐骨、尾骨、仙骨）、腰椎

## 腰椎・骨盤・股関節複合体（LPH）

股関節単独での屈曲可動域は93.0°であり、腰椎と仙骨の可動性が必要となる。

・股関節の屈曲（背臥位）

骨盤の後傾に伴い、

仙骨は前傾しニューテーションの位置となる。

・股関節の伸展（背臥位）

骨盤の前傾に伴い、

仙骨は後傾しカウンターニューテーションの位置となる。

A.I.KAPANDJI カパンジー機能解剖学 II 下肢

感覚入力、水和作用、可塑性・適応性

## 筋膜リリース



## 筋膜リリース

圧縮・剪断・圧迫を通じて

・循環の改善

（水和作用）

・組織の再編

（可塑性）

・感覚入力

（感覚情報の整合化）



## 筋膜の性質 「水和作用」

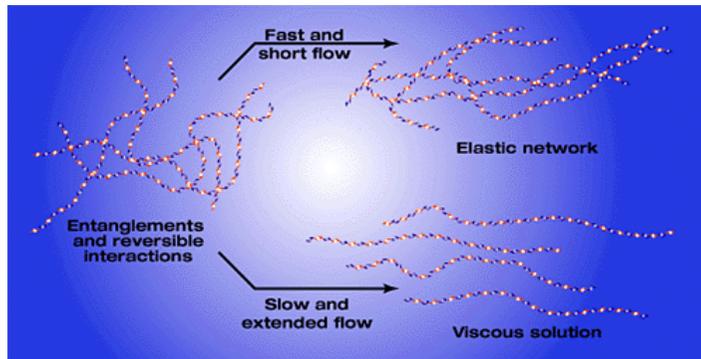
・伸長負荷を加えた時、腱の水和水の一部が押し出されている。（Helmer et al.2006）

・ストレッチング後、最初は水分含有量は減少するが、30分安静後に水分含有量は増加し最高で3時間後まで増加し続けた。

（Klingler et al 2004）



# ヒアルロン酸の自己会合と粘弾性



自己会合したヒアルロン酸は水分との結合を困難にする。  
 急激で持続時間の短い流れに抵抗できるという弾性的な性質を持つ。持続時間の長い流れに対しては、網目構造の一部は乖離し、分子が整列することにより、HAも溶媒分子とともに移動し粘性を示す。

<https://www.glycoforum.gr.jp/article/01A2J.html#mokuji07> より

# 水和作用と線維芽細胞

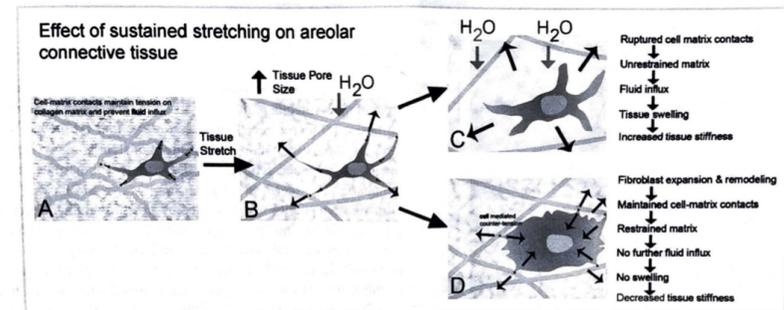


Fig. 2. Proposed mechanism for fibroblast control of matrix tension and fluid flux in response to tissue stretch. A: Fibroblasts maintain tension on the extracellular matrix and prevent fluid influx into the tissue. B: Sustained stretching of the matrix for several minutes decreases matrix compaction and increase in pore size, allowing water to flow in. C: Fibroblasts "letting go" of the cell-matrix contacts would further unrestrain the matrix and cause further swelling. D: Fibroblast remodeling, expansion, and maintenance of cell-matrix contacts would keep the matrix restrained and reduces water influx into the tissue.



Helen M. Langevin, Mailen Nedergaard, and Alan K. Howe  
 Cellular Control of Connective Tissue Matrix tension

# 筋膜の性質 「可塑性、適応性」



## 可塑性とは？

個体に外力を加えて変化させた後、その外力を取り除いても元の形状に戻らない性質



力学的な負荷に適応して変化  
 する性質

例.

伸びたビニール袋



# 筋膜に含まれる感覚器官

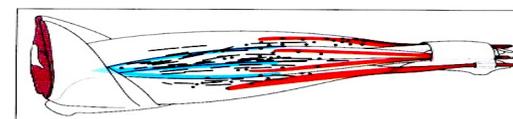
## • 筋細胞と結合組織の間 (RDCT)

筋紡錘、ゴルジ腱器官、ルフィーニ終末 (伸張)

自由神経終末、パチニ小体 (振動)

## • 結合組織の滑走部

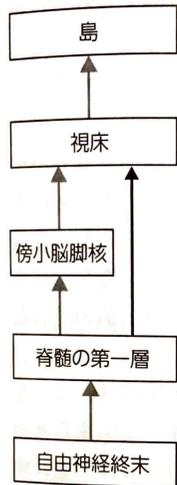
パチニ小体 (振動)、自由神経終末



Van der wal 2009



# 自由神経終末への感覚入力



自由神経終末は内受容感覚に関わり、**交感神経の出力の変化に関与**するため、局所の血流の増加や、血漿の滲出を増加させる。

## ○内受容感覚○

筋活動、疼痛、幸福感、空腹感、  
枯渇感、暖かさ、心拍など

内的身体認知や自己認識の関与も

Robert Schleip, Heike Jäger Interoception

# 体性-自律神経反射

皮膚や筋などの体性感覚によって起こる自律神経機能の反射性調整

## ・全身性反射

体性-自律神経反射には、中枢内経路を脳幹と脊髄に持つものがある。  
脳幹に反射中枢を持つ反射の場合には、入力する求心性神経の分節の影響を受けない

## ・分節性反射

脊髄性の反射の場合、入力する求心性神経の分節と遠心性神経の分節が同じ  
あるいは近い場合にのみ反射が起こる。つまり脊髄性反射は強い脊髄分節性を示す。

## ・軸索反射

一つの神経細胞体から出た軸索が抹消で枝分かれして、その軸索側枝の一本が求心路、  
他の一本が遠心路として働いて反射に似た現象を及ぼす。

鈴木郁子 やさしい自律神経生理学 命を支える仕組み

介入方法、注意点

## 筋膜リリースまとめ



# 筋膜リリース

## 組織を動かす

### 感覚入力

自由神経終末、ルフィニ終末へ感覚入力を通じて自律神経系を調整し、  
血流量、血漿滲出の変化を促す。

### 水和作用

組織内での循環の改善や、自己会合したヒアルロン酸の乖離を促す。

### 組織の可塑性、適応性

力学的な負荷をかけ組織の再編、ヒアルロン酸の粘弾性の改善を促す。

## 筋膜リリース 組織が動かない場合

### 動く場所から、動かない場所へ組織を集める

動かない組織（硬い組織）を無理矢理動かそうとしても組織の性質上さらに硬くする。硬い組織の周りにある動く組織（柔らかい組織）を硬い組織に寄せ集めるように介入する。

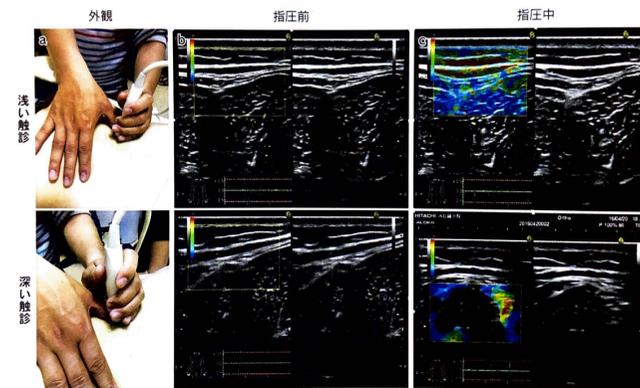
### 筋膜繋がり（直列・並列・螺旋）を考慮した介入

局所の制限を全体の構造から捉える。

筋間中隔や局所での直列・螺旋の繋がりへ介入する。



## 注意点 1 強く押すと硬くなる

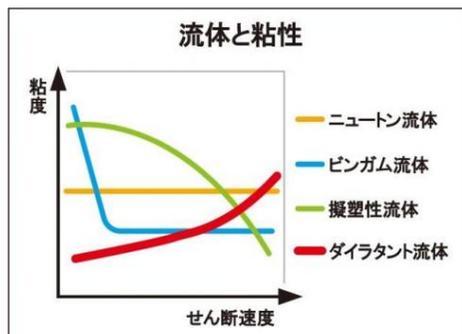


強い圧迫では、深部の組織も動くが強い圧迫により深部が圧縮・固定される傾向にある。

木村裕明、高木恒太郎、並木宏文、小林只  
解剖・動作・エコーで導く Fasciaリリースの基本と臨床 筋膜リリースからFasciaリリースへ



## 注意点2 早く動かすと硬くなる



剪断速度を上げると粘度が上がり硬くなる特性がある。

## ツール



- ・ 指
- ・ ナックル
- ・ 拳
- ・ 肘
- ・ 前腕



## 禁忌

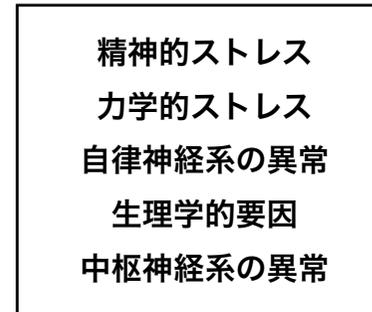
- 禁忌 癌  
妊娠中  
急性期の外傷  
感染症  
血管疾患、結合組織疾患、自己免疫疾患
- 注意が必要  
糖尿病  
てんかん（過呼吸）  
抗凝固剤を服用中の方



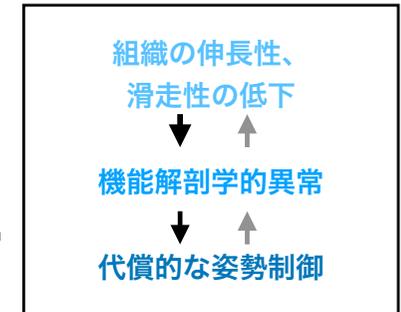
85

## 筋膜の異常と筋膜リリース

### 原因



### 筋膜の異常



↑ ↑  
筋膜リリース(感覚入力、水和作用、可塑性・適応性)